

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立厳木中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、知恵と工夫と判断を試された1年間であった。規模縮小や代替をせざるを得なかったが、状況判断を誤らずに実施できたことが学校文化の継承の点からも何よりだった。 地域との連携もさらに深まり、教育活動のPDCAという教職員の意識も高まった。「学校行事を参観する機会がほとんどなかったことが残念」という学校関係者の声に地域も含めた学校応援団の存在の多さがうかがえた。 取組内容や具体的取組は効果を上げているので今年度も継続し、学校教育目標「地域に根つき、笑顔と感動があふれる厳木中学校～主体的、協働的に取り組む生徒の育成～」を推進していく。
2 学校教育目標	地域に根つき、笑顔と感動があふれる厳木中学校～主体的、協働的に取り組む生徒の育成～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 環境を整え、生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。 生徒に活躍の場を持たせ、承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。 「立腰教育」を柱として生活規律を確立し、自己指導力と規範意識を高める。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 全職員による共通理解と共通実践 校内研究及び校内研修の充実 家庭学習を充実させるための取組 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 家庭学習の時間が一日1時間以上の生徒が60%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科とも、各単元における「課題解決に必要な力」の明確化と学習評価を踏まえた授業計画を作成し授業を実施する。また、全職員が年1回の研究授業を行うことで、授業の改善を図る。 Qプレゼンと自学ノートの取組の推進。 生徒会による家庭学習を充実させるための取組。(家庭学習に関する調査や集計発表、テスト予想問題の作成と実施など) 		
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 いじめの早期発見、早期対応体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> R4年度の12月県調査において、県正答率や到達基準を100としたときの本校の正答率(2学年)が、R3年度の結果を上回る。R4年度の12月県調査において、本校の正答率(1学年)が、県正答率や到達基準を上回る。 道徳に関するアンケートにおける肯定的な回答をした生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳に関するアンケートの実施 道徳科の授業力向上のための資料提供 学年PTAでの道徳教育に関する説明 保護者への保護者と連携したふれあい道徳の実施 学級通信等による道徳科の授業の紹介 						
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食喫食率95% 「健康に食事は大切である」と考える生徒90% 	<ul style="list-style-type: none"> 保健だより、給食だよりやアンケートを通して朝食を食べることの意義の理解と啓発を行う。 栄養教諭と連携し、実践的な指導や調理実習等を行う。 						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツテストの実施 授業前の補強運動を実施 外部講師を活用した講話の実施 						
			<ul style="list-style-type: none"> 水曜日に定時退勤日の設定 長期休業中の学校閉庁日の設定 週2日以上部活動休養日の設定 						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教員の専門性と意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援に関する専門性が向上した教員80パーセント以上 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援に関する研修会 個別の支援計画の記入についての研修会 情報機器を用いた支援に関する研修 特別支援学級在籍生徒の進路保障についての研修会 		
○進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> 「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした生徒が中学校3年生で75%以上、全体で72%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習を中心に、全ての教科やふるさと探訪や職場体験、地元企業訪問等の郷土学習を通して郷土を愛し将来の目標に向かって自ら考える時間を確保する。 						
○生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に学校行事や生徒会活動の中で活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「専門部や係の仕事に責任をもち取り組むことができている」と「自分は誰かの役に立っていると思う」という肯定的な回答をした生徒70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会、生徒総会、新入生対面式等の行事や専門部の活動の中で活躍する場をたくさん設ける。 						
○地域連携	<ul style="list-style-type: none"> いきいき学ぶからつっ子育成事業による教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒満足度について肯定的な回答(「楽しかった」「役に立つ」)をした生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 1年魚のさばき方教室の実施 2年煮魚教室の実施 3年食育に係る料理教室の実施 全学年朝の読み語り 						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---